

事務事業名	簡易水道事業特別会計繰出金		所属部局	市民部		単位番号	4099										
			所属課室	環境課		課長名	深澤 政樹										
	☐ 実施計画事業		所属担当	環境保全担当		担当者名	花輪 俊明										
基本政策	基本計画体系	14	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策		22	上下水道の整備	事業区分	01	一般	0	4	0	1	0	5	0	7	0	0	1
施策		22	良質な水の安定供給		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度) ~ 年度)		法令根拠	簡易水道事業の設置等に関する条例													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 白根、芦安地区簡易水道事業特別会計への繰出金(償還金+事務費) 白根地区：合併直前に新たな水源を確保し、70世帯に配管工事と水道料金メーターの取り付け工事をした時の起償償還金にあわせて、平成22年度の水道管理補修費の財源に充当するための繰出金。 芦安地区：温泉ロッジの上にある水源と、芦安中学校の上の林道にある水源から、280世帯に配管工事と水道料金メーターの取り付け工事をした時の工事費の起償元金償還金。 平成22年度の水道管理補修費の財源に充当するための事務費繰出金。			事業費の主な内訳 (22年度)													
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)							
				白根簡易水道特別		13,837		芦安簡易水道特別		24,625							
				会計繰出金				会計繰出金									
								計		38,462							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	白根、芦安地区簡易水道事業特別会計への繰出金(償還金分+事務費)
22年度活動実績	白根、芦安地区簡易水道事業特別会計への繰出金(償還金分+事務費)
23年度活動予定	白根、芦安地区簡易水道事業特別会計への繰出金(償還金分+事務費)
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
水道事業者	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
安定した簡易水道事業の経営をする。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
常時良質な水を地域に安定供給する。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 給水世帯数	戸
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 簡易水道事業数	件
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 簡易水道事業における繰出金の割合	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 良質な水の確保や安定供給	地域
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円			7,500					
			その他	千円								
			一般財源	千円	32,328	38,462	59,257	49,902	298,382			
	事業費計 (A)			千円	32,328	38,462	59,257	57,402	298,382	0	0	
	人件費	正規職員従事人数			人							
		延べ業務時間			時間							
		人件費計 (B)			千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A) + (B)			千円	32,328	38,462	59,257	57,402	298,382	0	0
活動指標		ア	戸	236.0	253.0	250.0	250.0	250.0	250.0			
		イ										
		ウ										
対象指標		ア	件	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
		イ										
		ウ										
成果指標		ア	%	70.0	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0			
		イ										
		ウ										
上位成果指標		ア	地域									
		イ										
		ウ										

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併直前に白根、芦安地区へ新たな水源を確保した時の配管工事と水道料金メーターの取り付け工事をした時点で開始された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	簡易水道事業特別会計繰出金	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 良質な水の安定供給の面から見ると結びついている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 良質な水の安定供給を行い生活環境の保全をしていくためには、税金の投入は妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 簡易水道の安定経営により良質な飲料水の提供を行う事業であるので適切である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 事業実態に合った負担であるため向上の余地がない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 良質な飲料水の安定供給ができなくなる。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 簡易水道の経営ができなくなるため休止・廃止できない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 簡易水道事業の安定経営に関するものであるため削減の余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事務処理経費のみであり最低限の人件費であるため削減の余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 水道料金により経営をしており市内全域に水道水を供給しているので公平公正である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	特になし

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 特になし。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					